滋賀・上山神社遺跡

1　所在地　滋賀県神崎郡能登川町大字山路
2　調査期間　一九九五年（平7）四月～一九九六年三月
3　発掘機関　能登川町教育委員会
4　調査担当者　杉浦隆支
5　遺跡の種類　集落跡
6　遺跡の年代　平安時代
7　遺跡及び木簡出土遺構の概要

上山神社遺跡の調査は能登川町総合文化情報センター（図書館・博物館・埋蔵文化財センター）の建設工事に先立つものである。

（彦根西部）

確認された遺構は、主に平安時代末期のもので、屋敷地を取り囲む濠跡が検出され、その西約一五〇mの地点から、一二世紀後半の土坑が検出され、呪符木簡二点のほか、黒色土器、土師皿、刀形木製品などが出土した。

8　木簡の釈文・内容

(1)　・「〈（符籙）急□□左方　□」　230×25×3　032

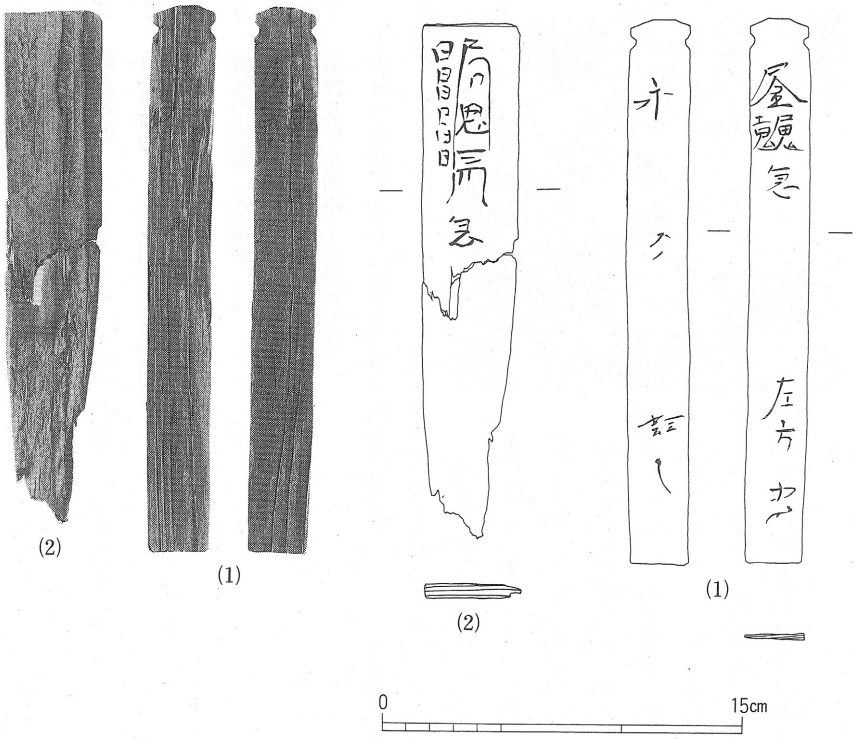
　　・「〈　□　　□　□□　」

(2)　「（符籙）急×　(217)×41×6　019

(1)は表裏両面に墨書が認められる。表面の上半部には呪いの文字があり、その下に「急」と見える。下半部には「左方」と読みとれる。裏面にも文字が確認できる。(2)は片面のみに墨書が認められ、上半部に呪いの文字があり、その下に「急」と見える。二点とも「急々如律令」と書かれていたものと思われる。

木簡の釈読については、奈良大学の水野正好氏、㈶元興寺文化財研究所の藤澤典彦氏のご教示を得た。

9　関係文献

能登川町教育委員会「上山神社遺跡」（『能登川町埋蔵文化財調査報告書』四二　一九九七年）

（杉浦隆支）